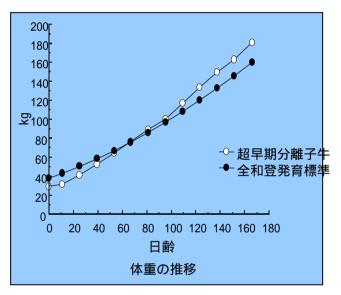
超早期親子分離で確実な「1年1産」を達成 子牛の発育も良好

分娩後3日で親と子を分離する方式により、空胎期間は平均66日と1年1産を達成した。 同時に、子牛は下痢等の疾病は認められず、増体も平均0.91kg/日とすばらしい成績を 示した。

目的

規模拡大が進む繁殖経営では、母牛の空胎日数の短縮と子牛の損耗を防ぐ(特に下痢の予防)ことが技術課題とされている。そこで、母牛の繁殖管理と子牛の健康管理をおこなうために、母牛と子牛を生後3日目で分離し、子牛はカーフハッチで単飼する、超早期親子分離をおこなった。





約70日齢から標準値を上回る発育

カーフハッチによる飼育風景

代用乳 1日2回 300g/回 1日1回 (人工乳 700g/日摂取を目安に離乳)							
人工乳		約 10 日齢より不断給与					
育成飼料		(人工乳から徐々に切り替え) 約 90 日齢から定量給与					
乾草		約 10 日齢より不断給与					
_							
(日齢) 0)	2 0	4 0	6 0	8 0	1 0 0	1 2 0

子牛育成プログラム